※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　基礎学習科

教科	基礎学習	科目	（学）基礎の学習	単位数	２単位	年次	１～４年次
使用教科書							
副教材等	自主教材						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ０時限科目として開講します。
- 過去に不登校を経験した生徒、学習が遅れがちな生徒を対象に、義務教育段階での学習内容を十分に習得できる内容で授業を進めます。
- きめ細やかな指導を行うため、少人数で編成し、個々の到達状況に即した学習指導を行います。

２　学習の到達目標

- 基本的な学習習慣を確立させ、学習する喜びや達成感を得られるようにする。
- 基礎的、基本的な事項の反復学習を通し、基礎学力を定着させる。
- 生徒に生きる力を育むことを目指し、主体的に学習に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	国・数・英の基礎的・基本的な事項を理解している。	学習習慣を確立する大切さに気づき、学習する喜びや達成感を感じる力を身につけている。	反復学習の習慣を身につけている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4～8月	生徒により異なる	個人の進度に応じて、不足している分野の学習を基礎から重点的に行うとともに、比較的得意な分野についてはパフォーマンス課題に挑戦させる。	a:学んだ内容を理解し、授業プリント内の基礎的な問題を解くことができる。 b:自分に足りないところや得意な所に気づき、苦手を補いつつ長所を伸ばす学習習慣を身につけることができている。 c:学力の向上のため、反復学習の習慣を身につけようとしている。	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

１０月～２月	生徒により異なる	前期の内容をより発展させ、通常開講科目と同様の難易度の問題をパフォーマンス課題として位置づけ挑戦するとともに、継続して基礎的な学習も行い、反復学習の習慣を身につける。	a:学んだ内容を理解し、授業プリント内の基礎的な問題を解くことができる。 b:自分に足りないところや得意な所に気づき、苦手を補いつつ長所を伸ばす学習習慣を身につけることができている。 c:学力の向上のため、反復学習の習慣を身につけようとしている。	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題	・小テスト ・授業プリント ・パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度